



発行所  
曹洞宗青年会  
〒103 東京都港区  
2-5-2 曹洞宗青年会内  
発行責任者 吉岡博志  
TEL:03-454-5411

青年宗侶のエネルギーを結集しよう  
社会的価値ある活動をしよう  
青年宗侶の自覚を促そう  
地域における活動の連携を深めよう

# 六十一年度総会 組織の充実を!



総会特集号	
目次	
総会報告	2・3
総会資料	4

## 新潟曹青・長崎曹青の団体加入に拍手!

五月十一日に宗務研修道場にて全曹の年度総会が開催された。今回は第六期二年目とあって促進している団体加入の状況報告に最大の関心が集まった。また、執行部でも各曹青の動静収集に全力を傾注し、ことある毎に加入を勧めて来



## 出席者は百余名で会場は満員

今回の総会にあたり、執行部が危惧したこの一つに出席者の数があつた。運営上に変化のある総会と異なり報告が中心となるだけに心配したことであつたが、理事會・評議員会ともは

## 破草鞋

◎今年も、もう半分過ぎようとしている。子どもの頃は早く夏休みが来ないか、否、次の日曜日すら随分長く待たされた。最近は一かごとくも短かく感ずる。

◎時間について、仲よくして天理教の教師が「子供と大人では時間の長さが違う」と教えてくれた。ムキになって「大人でも子供でも二十四時間」と反論する。「生霊に対する長さが違う」といふのである。つまり、十才の子どもにとつて一年は人生の十分の一であるが、四十才には四十分の一というのだ。

◎四十才を前にして書道を書こう事にした。塔婆書きなど筆の必要に迫られたからであるが、なかなかうまくならない。先生も「気長にしましょう」と言ってくれるが、横で書いている子供のうさげ振りに目がいつてしまう。これも人生に對する長さの違いか。

◎経験は大事であるが、新しい事例に對しては反応が鈍くなる。感動が薄くなるからだ。宗教者には感動が大切というがこれは純粹さが無いと出てこない。純粹さは宗教者にとって命である。経験のみで解決を計ろうとする自分の姿は嫌になる。

◎高祖大師は「時は一向にすぐるとのみ計功して、未到と解会せず」と示された。いたずらに経験ばかりで過ごしては法法の常住性に氣付かないと言われたのである。◎すでに時間的には人生の半分が終ろうとしている。今後、二年一年は益々加速していく。この一日の身命は貴重である。人間として僧侶として有意義な一日であるよう念じてともにに行きたいと願わずにはいられない。六月十日は時の記念日である。

# 六十一年総会報告

## 各曹青は

## 全曹青の基盤!!



事務局長  
小原 宣弘

昭和六十一年度全曹青宗青年会定期総会が、五月十二日に宗務庁に於いて開催された。

### ●理事会・評議員会

午後二時より、理事・評議員の合同会議が三十名以上の出席をもって開かれ、各々の議案に対し、熱心な質疑の後、円満に承認されました。

### ●総会

午後二時より、総会受付開始。続々と全国各地から会員が参集し、会場となった五階研修道場に着席した席は二時半にはほとんど満杯となり、現執行部の方針としている、団体加入の促進それに伴う、新しい全曹青のイメージが、全国的に受け入れられてきている感じがしました。

午後三時に七下鐘にて入堂、本席上供。鈴木重純副会長より開会宣言。そして、吉岡会長は挨拶で、第六期執行部が半期すぎた時点での反省と、その執行部が当り全国各地の対し感謝の意を述べるとともに、全国各都府の物々面にわたる、温かい支援に対し感謝の意を述べるとともに、大衆教化の拠点求めて、というイメージの更なる発展を促し、時期に継承させるべきことを宣言しました。

また、この日業として、多摩尾教化部長長務、また、曹青宗ボランティア会、有馬長成事務局長より挨拶いただいた。

### ●議長東北我輩科道君

副議長に愛知中島徳禪君を選出した総会。

第一号議案 昭和六十一年度事業・行事の報告並びに承認について

第二号議案 昭和六十一年度収支決算の報告並びに承認について

告並びに監事の報告と承認について  
第三号議案 昭和六十一年度事業・行事(案)の承認について  
第四号議案 昭和六十一年度収支予算(案)の承認について  
第五号議案 全曹青旅費規定の制定について  
第六号議案 全曹青役員補充について  
第七号議案 その他について

「全曹青はあくまで単位曹青と共に歩み、各地青年会の連絡協調を計るパイプ役として位置づけし、その為、結成時の個人加入を団体加入に切り替え、各曹青から選出されてきたものによって運営される。また、全曹青の事業も各曹青で検討される」と、第六期の基本方針を再説明するとともに、「今日、正式団体加入が二十八団体、会員登録は三千名以上さらに広がっていく」と事業の概要を説明した。

「提案各務については担当の会計、各委員長より説明があったので、事業・研修委員会からは「禅文化学校行を大本山永平寺貫首が御師」巡錫で進行。南伝上座仏教の教えのまゝに行ずる僧侶と民衆のいるシリランカで実施する」と説明があった。

組織委員会からは懸案の「名簿作成」について年度末には完成、広報委員会からはパイプとしての年六回会報発行と「五十号記念号」の発行が説明された。各議案と慎重審議の上承認されたが、

## 会員名簿作成に全力!!



組織委員長  
吉村 明仁

団体加入と内部組織の充実を挙げ、連絡調整役としての新しい全曹青のイメージが徐々に、しかし、確実に広がっていると感じ、昭和六十一年度の総会でも、さらに執行部を挙げ努力し、二二二つの

懸案を大事に処理し、「全国の青年会は一つであり、会員は仲間である」との新年の中に誠意と情熱をもって運営していくという会長の言葉に大なる拍手があった。と添えて総会報告いたします。

吉岡会長より組織委員長を委嘱され、会の方針に従い全曹青組織の見直しを図り、(一)団体加入の促進、(二)全曹青会員の基盤の作成、(三)地方集会所の支援を重点目標に、他の委員共々その任に当たりました。

(一)団体加入促進に関しては、本年度は、二十六団体の正式加盟、九団体の意志表示を見るに至りました。初年度として、大々な成果を挙げたといえ、目標を四十七団体に抑えていたのが、一歩と進んでいく感じがします。

初回は曹青加盟者の名簿として予定していたが、会長方針より未加入団体を含め、各地青年会の会員名簿を網羅した、曹青青年会全国会員名簿として発行する事に決定しその準備に入った。六十一年から六十一年度にかけての事業となるが、

時間的余裕があるので、一団体でも多くの加入を得、未加入組織にも名簿提出の協力を願い、「曹青宗青年会全国会員名簿」に恥じないものにしたと思います。過去何度か作成の話がありながら実現できなかった青年会簿に寄せられる期待も大なるものがあると思っております。皆々様の絶大な御協力をお願い申し上げます。そして、この名簿作成が、団体加入の促進にも大きく役立つと確信しています。必ずや会員諸兄に満足いただけるものにすべく努力いたします。

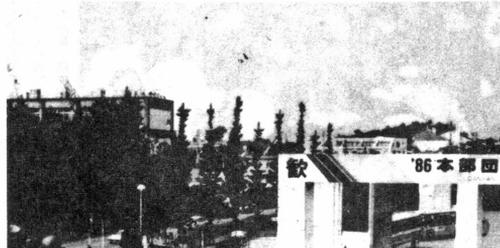
(二)地方集会所の支援につきましては、六十一年度は六地区六会場にて開催され、本部より二名役員を派遣し経費助成を行ってまいりましたが、開催準備に尽力された各地方役員の方々に感謝いたします。本年度も全場分の予算措置を行い前年同様支援を行ってまいりますので、各地方役員諸兄御協力をお願い申し上げます。

立正佼成会見学  
翌日は午前七時三十分宗務庁出発で新宗教の見学となった。  
今回見学の佼成会は在家仏教団として全国に二七の教会を有し、リーダー的な存在だけに参加者も多く、バス一台では不足するほどであった。  
佼成会では概要説明のあと各施設を見学、続いて青少年部の活動を紹介を受け、施設については新宗教らしく権威に満ちた建物が並び圧倒されたが、何よりも

## 禅の集い中央研修会

### ゲーム講習

総会に併せて開設された研修会は「ゲーム指導について」として神奈川県立屋外教育センターより山田一男講師を招いた。とかく先入観で逃げ出したくなるゲームであるが、(一)プログラムをかく、(二)理論と汗をかく、(三)頭をかく、と三かく運動が大事な、実際のゲームを組み入れ、笑いの絶えない講習となった。また、ゲームには入り易い内容が心がけ、対象・内容を研究し言葉使いから服装まで注意が必要であるとの解説は日頃の教化活動にも参考になった。



どの人口でも会員から心のこもった合掌で迎えられたことが強く心に残った。佼成会青少年部は三十才までの会員を対象として四構成(少年部、学生部、男女部、青年婦人部)になっている。それぞれ菩薩行の実践を目指しているとして、詳しい活動内容の説明を受けた。質問では、現場の活動が既成教団とのかかわり方、戒名についてなど活発な質問がでたが、あくまでも在家教団として活動していくことであった。



白熱の理事・評議員会議

# 充実した研修を

事業研修委員長

山田 康 成



「禅のついで」について

前期執行部より継承致しました「食」をテーマに、禅のついで研修を三回にわたって開催致しました。このテーマについては、各地区の集会に於いても、意欲的にとりくんで頂き、全曹青と歩調合せて頂いた事に、深い感謝の意を表するものであります。

ものであります。

六十年年度につきましては、さらに一歩前進し「食」それは生命・実践への道として研修を進めたいと存じます。一層のご協力をお願い致します。

「禅文化学林」について

第七回禅文化学林は「南こうせつと花まつり」と題し、青少年との融和を図るために、コンサート他に、権児行列、歌謡一代記の講演、パネル展示、坐禅指導、お茶会等、新しい感覚で企画し、多

種多様の行事を併修したところ、約千人の一般大衆を動員するに大成功の中に無事円成する事が出来ました。これは禅文化学林に於いて特筆すべきものであると確信致します。

六十年度においては、大本山永平寺貫首丹羽廉芳大禅師下御巡錫により、スリランカをその研修道場とし、実施するはごびとりました。発生当時の仏教が今を生きづくスリランカに、小乗仏教の教えのままに行ずる僧侶に学び、さらに、スリランカ仏教会との友好で深めたいと考えております。「貫首下御巡錫」と言う第八回禅文化学林は、必ずや全曹青の歴史に輝く成果を残すものであります。多数の参加を期待致します。

「ソフトボール大会」について

初の試みとして、会員相互の親睦を深めるための企画として、全国四会場において、親善ソフトボール大会を開催致したところ、合計二十チームの参加を得、普段訓練になりがちな会員多数の参加を見たなど、反響も大きなものがありました。本年度も四会場を対象とし、継続実施致しますので、お目出度う申して下さい。さらに本年度の新企画として、一般聴衆を対象に布教の実演を行なう「青年僧が語る」全国布教大会」を計画致しております。

昭和六十年年度と致しましては、日航機墜落事故と言ふ大事件を記さねばならぬと思います。我、全曹青においては、事故現場に赴いて、現地法要を修行すると言ふ、現代社会に対応する迅速性をともなった宗教家としての責務を果す事が出来たと思います。最近青少年の自殺が一種のファッションとしてうけとめられているようです。「生命の尊厳」「生命の原点」と言うもの彼等に問い正す以前に、我々青年宗教家がいかに対応出来るかを考えなければいけない時であるように思われます。全国曹青員各位の考えよう道と、協力を期待致します。

## 評議員名簿

- |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 佐々木 | 越中 | 細谷 | 太田 | 菊地 | 我妻 | 楠村 | 西村 | 野口 | 中本 | 向井 | 塩屋 | 安部 | 赤松 | 仙田 | 岩井 | 永田 | 中村 | 久保 | 富田 | 伊東 | 平家 | 田家 | 佐藤 | 岩本 | 森水 | 渡辺 | 堀部 | 中島 | 吉川 | 笠原 | 設楽 | 西田 | 目黒 | 松田 |
| 道一  | 恒邦 | 宏伯 | 耕伯 | 俊秀 | 良光 | 隆秀 | 光彦 | 見道 | 彦成 | 成徳 | 自哲 | 現善 | 房行 | 正和 | 芳雄 | 竜二 | 信道 | 明宏 | 徳仁 | 周詮 | 耀二 | 耀三 | 耀四 | 静庵 |    |
| 耕明  | 明憲 | 憲見 | 也道 | 道道 |

の促進、各地青年会代表者による運営)を図る中で、各地青年会の連絡調整や支援を行い、会員へ還元できる事業、研修の開催を実現することであり、事務局並びに各役員とも、執行二年目を迎え、昨年の経験と反省を生かし、充実した内



会長 吉岡 棟 憲

# 61年度全曹青 運営にあたって

六十年年度全曹青の運営にあつての基本方針は、六十年年度の運営方針を踏襲しながら、更に強固な活動を展開することにあります。

容ある運営を目指しておりますので、期待に応えることができたいと思ひます。大変光栄なことに、本年度は宗務行よりの助成金が増額され、また禅文化学林(スリランカ)に大本山永平寺貫首丹羽

覚のもとに団結の輪を広げて行動を起こしてまいりたいと思ひます。各委員会が掲げた年度計画には、多様な事業、研修が予定されておりますが、中には「禅文化学林・スリランカ仏

加して下さるかが、執行部へ対する評価となるため、各地青年会会員諸兄の反応が大きな刺激となり励みとなりますので、改めて各位のご協力をお願い申し上げます。次第です。

廉芳禅師現下の御同行を賜れる大勝縁にあずかれることになりました。これは全曹青に対する新たな評価であり、全曹青が更に一歩前進したと受けとめていいでしょう。私たちは、これら多くの期待を裏切ることなく、青年宗生としての自

跡巡拝」「曹洞宗青年会全国会員名簿の作成」「曹青通信記念号(第五十号)」の発行などの大業が含まれております。しかしこれらの事業も各地青年会の協力なくしてこれらの事業も各地青年会の協力なく、また、それだけの人々が賛同し参

何卒、今期全曹青の運営方針「深い理解を示され、尚一層のご支援と法要を賜りますようお願い申し上げます。

总会資料

昭和61年度全曹青事業予定

Table with columns: 事務局・総合企画委員会, 事業・研修委員会, 組織委員会, 広報委員会. Rows list various activities and their schedules.

昭和60年度事業報告

Table with columns: 事務局, 事業等. Rows report on activities from the previous year.

昭和60年度全国曹洞宗青年会歳入歳出決算書

自昭和60年4月1日～至昭和61年3月31日

歳入合計 11,654,668円
歳出合計 10,043,196円
差引残高 1,611,472円

【歳入内訳】

Income breakdown table with columns: 科目, 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減, 内訳, 訳.

【歳入内訳】

Income breakdown table with columns: 科目, 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減, 内訳, 訳.

昭和61年度全国曹洞宗青年会歳入歳出予算書

自昭和61年4月1日～至昭和62年3月31日

歳入合計 13,500,000円
歳出合計 13,500,000円
差引残高 0円

【歳入内訳】

Income breakdown table with columns: 科目, 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 内訳, 訳.

【歳入内訳】

Income breakdown table with columns: 科目, 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 内訳, 訳.

- 第六期・昭和六十一年度全国曹洞宗青年会役員名簿
理事: 山口正幸, 高橋正三, 山田正典, 山田正典, 山田正典
幹事: 山田正典, 山田正典, 山田正典...